

平成 28 年 5 月 20 日発行
瑞雲：めでたいしるしの雲の意

瑞雲

ずいぶん

第103号

明日を拓く 直方鉄工青年会

直方鉄工青年会
第 52 代会長

内藤 誠治

■平成 28 年度スローガン

新 生

～継承と挑戦～



直方鉄工青年会第 52 代会長を務めます、株内藤鍛造所の内藤誠治と申します。

直方鉄工青年会は、一昨年に創立 50 周年を迎え、今年で 52 期目と 100 周年へ向けた歩みを進めております。

これも関係諸団体、特別会員の皆様方の長きに渡るご理解とお力添えの賜物と心から感謝致しております。

また、昨年度は、特別会員の方々のご子息も含め、10 名近い新入会員を迎えました。昨年の懇親会では会員は 24 名でしたが、現在 32 名まで増えています。これも会活動にご賛同頂き入会にご協力頂きました特別会員の皆様をはじめ多くの方々のおかげと厚く御礼申し上げます。入会後に「仕事に対する姿勢が良くなった」「成長した」とのお言葉を頂くこともあり非常にうれしい限りです。引き続きそのようなお声を沢山頂きますよう自己研鑽に努めて参ります。

さて、現在我が国のものづくりは大きな岐路に立たされております。中国の景気減速や鉄冷えを原因とした国内生産の落込み、シャープ・東芝という日本を代表するものづくり企業が、海外企業に身売りや事業の一部を売却する事態となっております。こうした経済のグローバル化による影響は、我々一地方の中小企業にとっても無縁ではありません。常に海外企業との受注競争に晒されている企業もあり、生産の一部を海外に移す企業もあります。家業の継続・発展の上に成り立つ青年会も激動の時代にあります。

企業の寿命が 30 年と言われる中、青年会は 50 年を超える歴史を持ち、円熟期に達しております。今後も 60 年、70 年、その先の 100 年へと存在し続けねばなりません。青年会が存在し続けることは、諸先輩方や支えて頂いた関係者の方々、そして地域社会に対する責任です。しかし、従来のやり方や固定観念に固執し組織が硬化しては、激動の時代を乗り越え存続し続けることは困難です。一方で、発足以来変わらない会の理念や魂をしっかりと紡いでいかねば、本会の存在意義はありません。

会の理念や魂をしっかりと継承しながら、時代に即した新たな青年会を求め生まれ変わり続けることが今我々が成すべきことと考えており、そうした意味をこめて、平成 28 年度のスローガンを「新生～継承と挑戦～」とさせて頂きました。

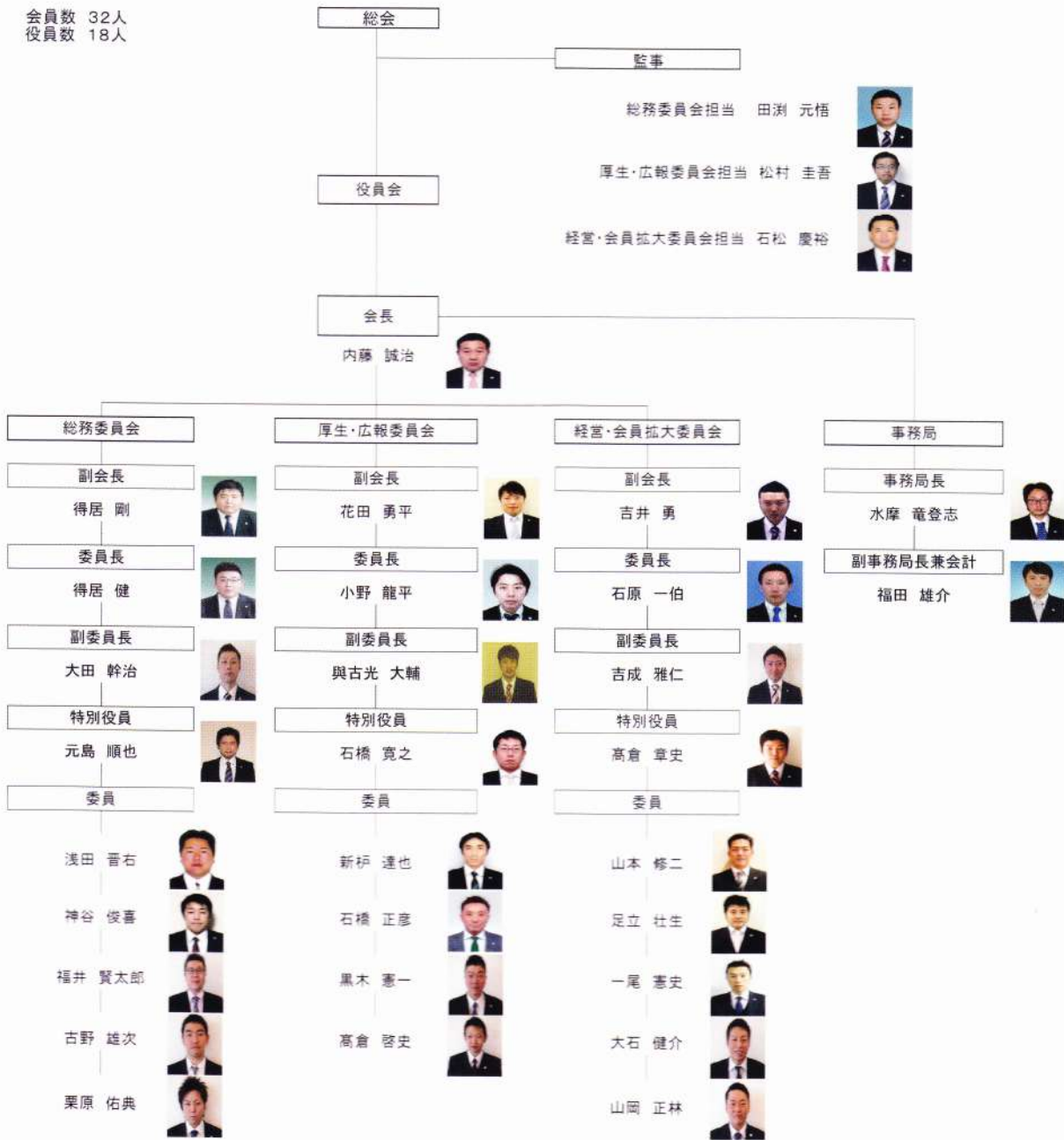
会の理念や魂とは、一言で言えば、「人付き合いを学び大切にすると考えます。これは仕事上でも私事でも非常に重要ですが、「これが正解」というのも難しく実践で学んでいくものです。我々の対外的な評価は「きちんとしている」「元気が良い」「礼儀正しい」といったこの青年会の理念や魂に寄るものです。これを会の伝統として若手会員がしっかりと引継、継承できるようにしていきます。一方で若手会員を中心にのびのびとやりたい事に挑戦する環境や雰囲気作りに努めて、会活動のより一層の活性化を図りたいと考えます。

そして、このスローガンを会員それぞれが意識し実践することで、個々の会員が成長し青年会全体がより若々しく活性化され、「新生青年会」と認められるようになりたいと考えております。

諸先輩方が築き上げた会の理念や魂を伝統としてしっかりと継承しつつ、これまで以上に自己研鑽・探求につとめ、若者らしく、何事にも前向きで明るく元気よく、取り組んでいく所存ですので、年間どうぞよろしくお願い致します。

平成28年度 直方鉄工青年会 組織図

会員数 32人
役員数 18人



平成28年度 年間事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他
総務委員会	通常総会 懇親会	例会	例会	例会 夏祭り	例会	例会	例会 社会見学 旅行	例会	例会	例会	通常総会 懇親会	例会	
厚生・広報委員会					家族対象 事業				チャレンジ 事業			卒業生を 送る夕べ	瑞雲発行 広報活動
経営・会員拡大委員会			経営事業			会員拡大 事業		産業まつり		特別会員 合同新年会			
事務局	手帳作成	新生事業			初盆参り				会長選考 委員会 餅つき		厄払い	会計監査	

委員長決意表明

意気衝天!

委員会方針 有言貫徹



得居 健

総務委員長

平成28年度 総務委員長を務めさせていただきます、(株)得居商店 得居 健と申します。前年度は事務局長という大役をさせていただき、石橋前会長のもと会を纏める難しさや、考え方、青年会の窓口として他団体等の対応などとても身になる経験をさせていただきました。今期は総務委員長として毎月の例会や4月・2月の総会や事業をしっかりと取り仕切っていきたいと思っております。

また、前年度に新入会員が9名入会し後輩も増え先輩としても頼られるたのもし先輩にならなければならないと考えています。

そのためには厳しく嫌がられるような事も言えないといけない立場ですが、まずは自分自身が言えるだけの行動と言葉と自信を持たなければ聞いては貰えません。

委員会方針の「有言貫徹」にはそういった決めた事はやり通す事や、自信をもって自分の意見を言いあえる活発な委員会にしたいと考えてつけました。

まだまだ出来てなく迷惑をかけていますが、今期でそんな甘えた自分を卒業すべく会活動に仕事に励みたいと思っております。今期、1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

委員会方針 百折不撓

今期 52代内藤会長より経営・会員拡大委員会委員長として任命頂きました(有)八大鋼業 石原 一伯です。直方鉄工青年会に入会し6年目の年になり、今期初めての委員長として会活動を引っ張って行く立場になりました。期待と不安でいっぱいですが、やる気だけは人一倍あります。

また経営・会員拡大委員会委員長として、委員会方針を掲げさせていただきました。「百折不撓」です。何度の失敗にもくじけず挑戦して行くことで一青年会員として一社会人として成長して行く思いで掲げさせていただきました。

今期初めての委員長として色々頼りない部分もあると思っておりますが、何事にも全力で挑戦し続け諦めず内藤会長、直方鉄工青年会を盛り立てていきます。

若輩者でございますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



石原 一伯

経営・会員拡大委員長

委員会方針 STEP UP



小野 龍平

厚生・広報委員長

この度、厚生広報委員長を仰せつかりました、(株)筑豊産業の小野と申します。

青年会に入会し丸6年が経ち、遅いですが先輩方々が助言頂いたことが少しずつ理解でき仕事でも活かせるようになりました。私自身、経営に対して何も知識がないまま、新規事業を立ち上げ、一昨年、昨年とかなり骨を折りました。しかし、青年会で培ってきた気合と先輩方のアドバイスでどうにか軌道に乗せることができました。最近では後輩が入会し、先輩となっていくためにはもう一度ステップアップしなければならないと考えております。

さて、委員会の話になりますが今年は、家族対象事業、卒業生を送る夕べと、大切な事業をやることとなります。委員会が楽しく、また出席したくなるよう頑張りたいと思っております。



新入会員紹介



福井 賢太郎

この度平成28年4月より入会させていただくことになりました、(有)福井製缶の福井賢太郎と申します。

直方鉄工青年会の様々な方よりお誘いを受けておりましたが、なかなか一歩が踏み出せませんでした。しかし、私自身も変わらなければとの思いと今後のスキルアップ、同業者との繋がり全てにおいて直方鉄工青年会はプラスの要素が多々あると感じております。少しでも自分が成長でき、会に貢献できればと思っておりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



大石 健介

今年度より入会させていただきました、(株)太陽エンジニアリングの大石健介と申します。

私は昨年7月末まで第一高周波工業(株)に勤務しており、その際にお世話になっておりました(株)内藤鍛造所/内藤社長に声をかけていただき、この度入会することとなりました。

私自身まだまだ未熟者であり、新しい職場に青年会にとまだまだ分からない事だらけですので皆様方にご迷惑をおかけすることもあると思います。

少しずつになるかとは思いますが、皆様の様々な考え方などをご教授いただき、視野を広げ徐々に成長できればと思っておりますので何卒宜しくお願いいたします。

最後となりますが、仕事内容は油圧・空気圧シリンダーのメンテナンスや製作等を行っておりますので何かございましたらお申し付けください



古野 雄次

平成28年4月に入会させて頂きました、(株)古野鉄工所の古野雄次と申します。

入社して11年目、私が青年会に入会してやっていけるのかという不安から入会を躊躇しておりましたが、青年会での活動を通して先輩方の知識・経験等を学び、自分自身のスキルアップに繋げていきたいと思い、入会させて頂きました。

まだまだ未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

入会のご案内!

ご入会・ご相談の窓口です。
興味がある方は是非お声掛けください!

連絡先

経営・会員拡大委員長
石原一伯 090-5295-1295

ホームページのご案内

<http://nij.o.oo7.jp/>

毎月の例会・事業の写真を随時更新!
過去の瑞雲なども掲載しています!

